

世界ソーシャルワークデー2026
記念シンポジウム

多文化共生の 地域づくり

～先進地の取り組みに学び、
ソーシャルワークの地域実践を考える～

定員 80名

(事前申込制・先着順)

【申込期日】2026年2月27日(金)

参加費 3,000円

WEBのみ1,000円

※WEBは午前中のシンポジウム
視聴のみ。

開催日

2026
3/8
sun



§シンポジスト

(公財)浜松国際交流協会

キクヤマ リサ氏

浜松市生活自立相談支援センターつながり

鈴木 勇太氏

浜松市社会福祉協議会 浜松地区センター

鈴木 光昭氏

§コーディネーター

諸井 一郎(JFSW国際委員会サポーター)



時間

10:00～15:00

開場 9:45～

会場

主婦会館プラザエフ 9階 スズラン

〒102-0085

東京都千代田区六番町15番地 (JR四ツ谷駅前)



【シンポジウムの内容】

先進地の取り組みについて知る

第1部

外国人受け入れの先進地である浜松市のこれまでの取り組みについて、国際交流協会、相談支援事業所、社会福祉協議会の立場から多様な外国人と共生する地域ならではの先駆的なソーシャルワーク実践について学ぶ。

第2部

交流会(昼食時) お弁当は各自持参

日本各地から参加しているソーシャルワーカー同士で知り合いになる。そして自分たちの実践について意見交換をする。

第3部

自分の街の共生社会づくりを考える

午前のシンポジウムを受けて、自分たちの街の共生社会づくりの課題とその解決方法、加えて地域で活躍するソーシャルワーカーの役割について意見交換する。

〔静岡県浜松市〕 1990年代以降、製造業が集積する浜松市には、ブラジルをはじめとする南米の日系人が大量に来日し、就労するようになった。近年では、アジア系外国人の増加もみられる。浜松市は外国人集住都市として多文化共生政策を積極的に推進しており、「外国人集住都市会議」を立ち上げ、外国人住民基本台帳制度の実施や、定住外国人の子どもの対象とした就学促進事業などを、全国に先駆けて展開してきた。また、窓口通訳の配置、行政情報の多言語化、多文化共生センターの設置による法律相談やメンタルヘルス相談の実施など、在日外国人の生活を支える多様な事業を行っており、全国的にも知られる政令指定都市である。

申込先二次元コード



日本ソーシャルワーカー連盟 (JFSW)

〒160-0015 東京都新宿区大京町23番地3 四谷オーキッドビル7階

(公社) 日本精神保健福祉士協会 気付

TEL.03-5366-3152 FAX.03-5366-2993

URL: <https://jfsw.org/>